

ママたちと一緒に学ぼう！未来の子どもたちのために ～つなひろ活動を通して～

つながる ひろがる 子どもの救急



活動概要

つながる ひろがる 子どもの救急（通称つなひろ）はクリニックの看護師（小児救急看護認定看護師）などが保護者の集まる場所に出向いていき、子どもの病気・救急の講座を開催している団体である。医療機関を受診する子どもや保護者へはもちろんであるが、こちらから出向き、一人でも多くの方へ情報を届け、普及啓発する目的に活動している。

活動内容

2013年より自施設で子どもの病気ミニ講座を月に1～2回開催し、2016年より岡崎市内の6つの子育て支援センターで定期的に月1～2回講座を開催している。また新聞やテレビで報道され不定期に講座依頼もあり随時開催している。

1回60分でざくばらんな会とし、質問を多く聞き対話の中での啓発を心がけている。1回の参加者は10～20名でありテーマはその時期に合わせた病気について、その治療について、ホームケアや受診の目安についての内容である。その講座の中でAMR対策についても話している。A3スケッチブックを作成しの紙芝居のようにいつでも、どこでも開催できるようにしている。



必要ないときもあるんですね。
高い熱がでた時、病院で抗生剤
（抗菌薬）もらわないと
心配でした・・・

逆に使わない方がいい
ときもあるんですね😊

耐性菌って新聞やテレビで
聞いたことはあったんです
が、実際に話を聞いて
やっと分かりました😊

つなひろの大切にしている5W1H

- ★When(いつ) : 月1回以上開催 リピーターも歓迎 何度でも参加してね！
- ★Where(どこで) : いつも遊んでる場所に、つなひろがお邪魔します！
- ★Who(誰が) : 小児科クリニック看護師などや、時には小児科医が！
- ★What(何を) : 季節に応じた子どもの病気や治療（AMR対策含め）
救急時のお家の対応法など
- ★Why(なぜ) : 大切な情報を誤解なく顔を見て伝えていきたいから！
- ★How(どのように) : 楽しく、分かりやすく、質問したり、聞きながら！

→現在、つなひろ講座での私たちの学びを他の医療機関や市へ情報提供し、広く多くの方に伝わるようなシステムを構築しています（他クリニック看護師との勉強会を実施しながら各クリニックでの受診時や乳児健診時等の啓発普及に向けて）